

第1 監査の対象

勝川開発株式会社

第2 監査の期間

令和2年11月24日から令和3年1月27日まで

第3 監査の方法

勝川開発株式会社における出納その他の事務が関係法令等に基づき適正に行われているかについて、春日井市監査基準に準拠し、主として令和2年度の関係書類を調査するとともに、関係職員から説明の聴取及び現地調査を行った。

なお、監査は次のとおり主な着眼点を設定し、対象となる事項について調査を行った。

1 所管課に関する事務

- (1) 出資による権利は財産台帳に登録され、決算書類に適正に表示されているか。
- (2) 出資団体の経営成績及び財政状態を十分把握し、適切な指導監督を行っているか。

2 勝川開発株式会社に関する事務

- (1) 定款、経理規程等の諸規程は整備されているか。
- (2) 出資目的に沿った事業運営が行われているか。
- (3) 経営成績及び財政状態は良好か。
- (4) 会計経理及び財産管理は適切か。
- (5) 資金の運用は適切で、経費節減は図られているか。
- (6) 関係帳票の整備・記帳及び領収書等の証拠書類の整備・保存は適切か。

第4 監査の結果

勝川開発株式会社は、出資目的に沿って事業が運営され、調査を行った事項はおおむね適正に執行されていると認めた。

第5 意見

地方自治法第 199 条第 10 項の規定に基づき、監査の結果に関する報告に添えて、経済性・効率性・有効性等の観点から次の意見を提出する。今後の事務の執行に当たっては、必要に応じて適切に対応されたい。

1 所管課及び勝川開発株式会社に関する事務

地域活性化の推進及び健全経営の確保を求めるもの（経済性・有効性）

勝川開発株式会社は、春日井市、商工会議所及び市内企業の出資により公共性と企業性を併せ持つ第三セクターとして平成 8 年に設立され、勝川駅周辺の活性化と魅力あるまちづくりの推進のために、勝川駅前の再開発ビル（ホテル棟）の管理運営や不動産賃貸事業、市施設の指定管理業務、子会社（100%出資）である株式会社ホテルプラザ勝川の経営指導等を行っている。

経営については、平成 15 年度に発生した債務超過は解消され、業績は順調に推移し、19 年度以降 13 年連続で黒字決算を達成していた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、今回の監査基準日（令和 2 年 10 月末）において、売上高や営業利益など前年同期と比較して減少傾向が見受けられ、預金残高についても減少している状況である。国や県の各種支援施策の積極的な活用等が認められるとはいえ、新型コロナウイルス感染症の影響は先行きの見通しが困難な状況にあることから、会社経営にとって厳しい状況が予想される。また、依然として長期借入金の返済や大規模修繕への備えなどの課題もあり、健全経営の確保について危惧されるところである。

第三セクターは、経営が著しく悪化した場合には市の財政に深刻な影響を及ぼすことが懸念される一方、健全経営の場合、公共部門における民間の資金やノウハウの活用により有力な手法の一つとなり、投下した資金を上回る経済効果や市町村の圏域を越えた活動の可能性など多くの長所も有している。

については、新型コロナウイルス感染症の影響を一つの契機として捉え、事業そのものの意義（必要性、公益性）、採算性等について改めて検討することも考慮に入れ、勝川駅周辺という立地の優位性と民間の自由な発想を生かした事業の創出など地域の活性化の推進を図るとともに、社会経済情勢や市民ニーズに適合した事業運営と健全経営に努められたい。

第6 勝川開発株式会社の概要

1 概況

(1) 設立目的

勝川開発株式会社は、勝川駅周辺の活性化と魅力あるまちづくりを推進し、併せて健全なビルの管理運営を図ることを目的とする。

(2) 組織（令和2年11月1日現在）

ア 会社役員（取締役社長1名、専務取締役1名、常務取締役1名、取締役6名、監査役2名）

イ 職員数8名（社員5名、パートタイマー3名）

(3) 市との関係

勝川開発株式会社は、春日井市の西の玄関づくりを目標とした勝川駅周辺総合整備計画に基づいて整備された公共・公益施設の管理運営を行うため、春日井市が資本金の2分の1以上を出資している株式会社で、勝川駅周辺の活性化と魅力あるまちづくりを推進している。

令和2年3月31日現在、株主数は155名であり、春日井市の持株数は7,120株、持株比率は50.13%となっている。

2 主な事業内容

(1) 不動産賃貸業務

ア ホテルプラザ勝川

イ ルネック

ウ 勝川駅南口ビル

エ 勝川駅北立体駐車場

オ 月極駐車場

カ コミュニティ住宅（一般貸出）

(2) 公の施設の指定管理者業務

ア 勝川駅前公営施設

イ 勝川駅前地下駐車場

ウ 勝川駅南口立体駐車場

エ コミュニティ住宅（共用部管理）

(3) 施設管理業務

ア ホテルプラザ勝川

イ ルネック

ウ 勝川駅南口ビル

エ 月極駐車場

(4) 子会社（株式会社ホテルプラザ勝川）の管理

3 決算状況

勝川開発株式会社の第24期（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の経営状況は、売上高406百万円、営業利益64百万円となり、営業外損益を加えた経常利益は63百万円、当期純利益は42百万円を計上している。

なお、当期の貸借対照表、損益計算書は次のとおりである。

貸 借 対 照 表

(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
流動資産	165,048,143	流動負債	39,501,161
現金及び預金	147,762,423	リース債務	3,028,514
売掛金	8,875,311	未払費用	9,391,412
貯蔵品	1,066,570	未払法人税等	13,643,800
立替金	5,384,658	未払消費税等	6,074,300
前払費用	1,899,980	前受金	5,738,853
未収入金	145,201	預り金	1,624,282
貸倒引当金	△86,000		
固定資産	1,298,970,862	固定負債	902,025,679
有形固定資産	929,033,041	長期借入金	877,200,000
建物	519,980,460	リース債務	8,929,479
建物附属設備	52,242,621	預り保証金	15,896,200
構築物	4,580,877		
機械装置	3,584,009	負債合計	941,526,840
工具器具及び備品	2,930,373	〔純資産の部〕	
リース資産	12,795,815	資本金	410,600,000
土地	332,918,886	資本剰余金	300,000,000
無形固定資産	290,605	資本準備金	300,000,000
ソフトウェア	290,605	利益剰余金	△188,107,835
投資その他の資産	369,647,216	繰越利益剰余金	△188,107,835
関係会社株式	290,000,360		
出資金	170,000	株主資本合計	522,492,165
長期前払費用	79,476,856		
		純資産合計	522,492,165
資産合計	1,464,019,005	負債・純資産合計	1,464,019,005

損 益 計 算 書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	
売 上 高		406,743,159
売 上 原 価		281,871,042
売 上 総 利 益		124,872,117
販売費及び一般管理費		61,328,218
営 業 利 益		63,543,899
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	7,848	
雑 収 入	280,011	287,859
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	737,621	
雑 損 失	79	737,700
経 常 利 益		63,094,058
特 別 利 益	986,126	986,126
特 別 損 失	982,126	986,126
税引前当期純利益		63,094,058
法人税、住民税及び事業税		20,966,528
当 期 純 利 益		42,127,530